

# 公的職業訓練効果検証ワーキンググループについて（案）

## 設置目的

適切かつ効果的な職業訓練を実施していくため個別の訓練コースについて、訓練修了者や採用企業からのヒアリングも含め、訓練効果を把握・検証し、訓練カリキュラム等の改善を図る。

## 構成員

岡山県、岡山労働局、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岡山支部。必要に応じて、地域職業能力開発促進協議会構成員の中から任意の者を追加する。（協議会構成員の機関・団体の職員で差し支えない。）

## 検証手法

公的職業訓練の訓練修了者、訓練修了者の採用企業及び訓練実施機関に対するヒアリングにより行うものとする。ヒアリング結果の各種データの統計処理による分析については、労働局職員が主として実施する。

## ワーキンググループの進め方

予め協議会にて検証対象とする訓練分野を選定し、ワーキンググループでは当該訓練分野の中で訓練修了者が比較的多い訓練コース3コース（ただし、異なる訓練実施機関が実施するものとする）以上選定する。

検証対象は、訓練実施機関と各コースにつき訓練対象者1名以上、当該訓練修了者を採用した企業1社以上とする。

## 効果検証、改善促進策の検討及び報告

効果検証を踏まえ改善促進策を検討し、ワーキンググループの効果検証結果及び訓練カリキュラムの改善促進策（案）等について協議会に報告する。